



まつやま

# 市議会だより

2012 No. 298 平成24年8月15日

編集・発行／松山市議会 ☎(089)948-6652 ホームページアドレス <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/kakukaichiran/shigikai/shigikai.html>

## 平成24年 第2回定例会

# 平成24年度6月補正予算 23億8521万2千円を 原案可決

平成24年第2回定例会を、6月14日から20日にわたり開催し、7月3日に閉会しました。開会日には、市長が予算案等の提案説明を行い、6月20・21・22日には12人の議員が一般質問を行い、提出された議案及び市政全般にわたり活発な議論を行いました。

その結果、議案18件のうち、15件を原案のとおり可決あるいは同意し、3件を否決しました。また、承認1件は承認、意見書案2件については原案可決が1件、否決1件、さらに質問8件については、いずれも閉会中も継続して審査することとなりました。



議長は、引き続き寺井克之氏（写真奥）が務め、副議長は森岡功氏（写真手前）が就任



副議長 森岡 功

### 副議長 就任に寄せて

栄誉ある第96代松山市議会副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄に存じますとともに、責任の重大さに身の引き締まる思いです。本市の発展と市民福祉の向上に、精一杯努力したいと存じます。近年の低迷する経済情勢や厳しい雇用環境は、地方にも深刻な影響を与えております。こうした状況の下、議会では、地域の自主性や自立性を高めるため「地域」のことは、「地域できる」という信念のもと、地域主権に対応した議会制度や開かれた議会づくりを目指しております。その中で議会基本条例や質問のあり方、政策提案能力の向上などについて、しっかり議論を進めていかなければならないと考えております。今後とも行政のチェック機能としての役割を果たすとともに、市民の負担に応え、信頼される議会の実現のため、議会改革と権能強化に全身全霊を傾注してまいります。何卒、市民の皆様には、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

## 可決された主な議案

### 予算

本会議の審議を経て原案可決された6月補正予算の主な事業は次のとおりです。

#### 津波に対する避難対策

南海トラフで発生する巨大地震による震度分布と、津波高の新たな想定を受け、沿岸部や島しょ部などの公共施設等への標高の表示を行うほか、ホームページ上に正確な標高が確認できる「標高マップシステム」を導入・公開することで、避難対策の充実を図ります。

#### 葉佐池古墳の整備

国史跡に指定された葉佐池古墳の遺構保護に努めるとともに、一般公開に向けた墳丘部分の整備工事やガイダンス施設の設計等を行います。

#### 事業所内保育施設の整備

企業等における事業所内保育施設の設置を促進するため、愛媛労働局から設置費・運営費について助成を受ける事業者を対象に補助を行います。

#### 準用河川等の護岸や樋門などの改修

河川整備計画に基づき、浸水被害の解消や洪水による災害発生の防止を図るために、護岸工事や樋門工事を行います。

#### がけ崩れ防災への対策

がけ崩れによる災害を未然に防止し、地域住民の安全を確保するため、擁壁工事や法面工事を行います。

#### 通学路等の安全対策

通学時等における児童の交通安全向上のソフト対策として、子ども自らが歩いて、また自転車に乗って感じた危険箇所を抽出し、自らの手で「子ども目線の交通安全マップ」の作成に取り組み、その作成過程を通して交通安全の意識啓発を図ります。

#### 花園町通りでのイベント実施

城山公園・堀之内と市内最大の結節点である松山市駅を結ぶ花園町通りの魅力アップを図るとともに、新たな観光スポットとして観光客の誘客を図るため、花園町通りで屋台の設置など、人が滞留するイベントを行います。

### 議員提出議案

#### 市議会議員等報酬・期末手当及び費用弁償条例の一部改正

地域主権検討特別委員会において、議員待遇の見直しについて検討した結果、現在支給されている費用弁償のうち、月額15000円の定額支給分を廃止することを決定したため、条例の一部を改正します。

### 意見書

#### 海上保安庁法及び領海等における外国船舶の航行に関する法律の一部を改正する法律案の早期成立を求める意見書

我が国の領土領海と国民の生命を守るという国家としての強い意志を世界に示すため、海上保安庁法及び領海等における外国船舶の航行に関する法律の一部を改正する法律案の早期成立を強く要望する。

# 一般質問



栗原 久子 議員  
(松山維新の会)

## 子ども目線の交通安全マップ事業について

**問** 未来を担う子どもたちの大切な命が奪われる痛ましい事故が後を絶たない中、本市において従来の大人の目線での交通安全対策を改め、子どもの目線で危険箇所を見つけ出したマップを作成することは、交通事故の減少に結びつくことと期待している。そこで事業の具体的な内容や、マップの完成時期・活用方法及び交通安全対策への連携・協力体制について問う。

**答** 本事業では、小学校に通う児童自らが「子ども目線」で見つけ出した地域の危険箇所を学校や保護者とともに地図に書き込み、マップを作成する。今年度はモデル校を1校指定して作成過程の検討を行い、来年度、各校で取り組む予定である。作成されたマップは配布し活用するとともに、本市としても関係機関と連携・協力して、道路交通環境の改善など、更なる子どもたちの安全・安心に全力で取り組んでいきたい。



## 介護サービスの基盤整備について

**問** 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスは利用者や介護する家族にとって心強く感じるところであるが、24時間対応で利用者のニーズに十分対応できる事業所はあるのか問う。

**答** 指定事業所の整備のためには、対応できるオペレーターや訪問介護員及び看護職員の確保が必要となる。協議中の事業所が1件あり、現在、申請内容を審査しているところである。

### (その他の質問事項)

副市長人事、第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画、緑の基本計画、「イチヨウ並木」、第2次まつやま教育プラン21(改定版)



小林 宮子 議員  
(公明党議員団)

## 「命を守る」公共施設の耐震化について

**問** 小中学校では、震災の教訓から集中的に予算配分となつているが、その他の公共施設の耐震化についても急務と考える。そこで長期計画策定時には、各部で管理・計画するのではなく、一括管理する「施設白書」の早期作成が必要と考えるが、所見を問う。

**答** 今後の公共施設のあり方について、幅広い議論が必要であり、これまで施設

所管課のみが把握していた情報を一元化する台帳を作成し、施設の長期保全計画や再編計画などを協議するためのプロジェクトチームの設置に向け取り組んでいる。将来的には、施設マネジメント基本計画を作成し、計画的な管理・改修を行いたい。

## 自殺対策について

**問** 我が国では、自殺による死亡者は、交通事故死の約6倍、3万人を超える状況が続いている。本市では、近年120名前後の方が自ら尊い命を絶つて亡くなつている。自殺者の方は、亡くなる前に何らかの相談機関を訪れていたとされ、連携して気づき、つなぎ「生きる支援」を行えば防ぐことのできる死である。そこで本市の今後の自

殺対策についての基本的な考えと具体的な取り組みについて問う。

### (その他の質問事項)

自殺対策は、社会全体で取り組む課題であり、行政をはじめ、市民、民間事業所、医療機関などが協力しながら、悩みを持つ人に気づき、支援につなげることができると考える。新たに民間団体でのゲートキーパーの養成に向けて検討を進めるなど、より実効性のある取り組みに努めていきたい。

**答** 自殺対策は、社会全体で取り組む課題であり、行政をはじめ、市民、民間事業所、医療機関などが協力しながら、悩みを持つ人に気づき、支援につなげることができると考える。新たに民間団体でのゲートキーパーの養成に向けて検討を進めるなど、より実効性のある取り組みに努めていきたい。

### (その他の質問事項)

女性の健康支援、読み書きに困らない社会の実現、「介護保険返納地域活性化事業」、孤立死防止、「くすり教育」、「成育コミュニケーション・ボランティア」、経費削減



川本 光明 議員  
(自民党議員団)

## 日量4万8千トンの不足量を改めないのか

**問** 少子高齢化がますます進む中、人口の減少が確実に進むと予測される中、水道水の需給計画において、当初予測平成27年の本市の人口は52万4100人であったものが、国勢調査結果に基づく予測では51万3300人となり、1万8000人の人口減となっている。見込んでいた日量の不足量をどう改めるのか。

**答** 「第6次松山市総合計画」と「長期的水需給計画」の推移人口の差異による不足水量への影響分については、修正が必要と考えているものの、直ちに、見直すべき大きな理由は見当たらない。新規水源開発の事業化を決定するまでは、本市の上位計画である総合計画との整合性を図りつつ、見直すこととしている。



## 副市長退任の経緯は

**問** 稲葉副市長は収入役を20期の助役、副市長を5期の長きにわたり、市

**答** 市長就任時、稲葉副市長の知識・経験は市政運営に大いに役立てていただけるものと留任をお願いし、その後の昨年6月の任期満了の際にも慰留した経緯があった。しかし、今回は本人の退任の意思が固いことから、大変残念ではあるが、6月7日退職の申し出を受け取った。

### (その他の質問事項)

市長公約事業の進捗状況等、環境問題



渡部 昭 議員  
(新風・民主連合)

## ヒジキ干場の充実で生産拡大を

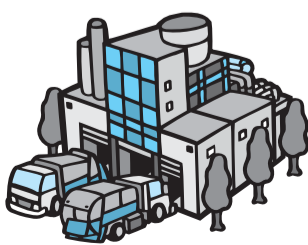
**問** 良質な乾燥ヒジキの生産には、品質の管理・向上が重要で、これまで、2段式の天日干し台や13漁港の表土コンクリート舗装などにより品質管理に取り組んできた。しかし、環境の良いヒジキ干場が不足していると聞く。そこで、今後さらに生産拡大を目指すためにも、干場の充実が必要と考えるが市の見解を問う。

**答** ヒジキの早期乾燥化や不純物の混入防止などによる品質の管理・向上をはじめ、漁家の労働力の軽減を図ることが必要と認識しており、これまでも漁協からの要望や漁港施設の用地利用計画等を勘案し、整備を図ってきた。今後も漁協から要望があった場合には、施設の導入に取り組むこととしている。

## 市設備の発電能力は

**問** 節電の今夏、本市のごみ焼却施設及び平成25年4月稼働予定の新西クリーンセンター並びにその他の発電設備におけるそれぞれの発電能力と具体的な活用方法、7・8月の予想売電額を問う。

**答** クリーンセンターでは、可燃ごみを焼却した際の余熱を有効利用する蒸気タービン



それぞれ1時間あたり1950KW、1260KWで、予想売電額は、両施設合わせて約300万円である。新西クリーンセンターでは、高効率ごみ発電装置を導入する予定で、発電能力は、一般家庭約1万2000世帯相当の1時間あたり最大6600KWである。また、その他の施設では、学校やRe・再来館等に設置した太陽光発電があり、予想売電額は約38万円である。

### (その他の質問事項)

職員の自殺に関わる労務管理

# 一般質問



梶原 時義 議員  
(ネットワーク市民の窓)

## 男女共同参画推進について

**問** 本市の男女共同参画推進条例には、「審議会等の構成委員任命に際し、男女いずれか一方の構成委員数が構成員総数の10分の4未満にならないよう努める」との規定がある。しかし、本市の6審議会67委員において女性の登用がゼロであることから、即刻改善すべきではないのか。

**答** 審議会等における女性登用率4割の規定は、市の政策や方針決定過程にお

いて女性の参画を拡大していくことを本市の目指すべき重要課題として位置付けたものである。しかしながら、審議会の中には、その目的を達成するために委員の選任要件として、特定の組織の長や女性の人材が少ない分野で専門的な識見を求められるなど、女性の登用は難しいが、今後のさらなる女性の社会進出により、自ずと解消されていくものと考えている。



## 奥道後地区への案内板設置について

**問** 奥道後にある湧ヶ淵公園や奥道後温泉に、市民や旅行者が分かりやすく行

けるよう、新しく完成した市道小野3号線とその交差点を含む国道に「奥道後方面」という案内板を設置してはどうか。

**答** 道路の案内標識は、目的地・通過地の方向、距離や道路上の位置を示すための標識板となっている。国道317号線の幹線市道「小野3号線」は、通行する利用者が多いことから、交通の安全と円滑を図るため、道路案内標識の表示内容が適切なものとなるよう、交差点の道路管理者である国や県と協議を行っているところである。

**その他の質問事項**  
津波避難対策事業、3月議会での市長答弁



杉村 千栄 議員  
(共産党議員団)

## 伊方原発再稼働に反対の意思表示を

**問** 四国電力によると、本市と東温市、砥部町の一部を含む地域の電力需要量は、供給量の11・6%に上るとのことである。供給量の約1割を消費する自治体がどういう態度をとるかというのは、重要だと考えるが、伊方原発の再稼働に白紙ではなく、明確な反対の意思を表明してはどうか。

**答** 原発の再稼働は、原子力政策の根幹を担う国の責任で、法律や今般の事故

を踏まえ徹底した安全対策が講じられ、それぞれの立地や周辺の状況等さまざまな環境を考慮した上で、国、県、立地自治体で適切な判断がされるものと考えており、現段階で意思表明を行うことは考えていない。

## 社会保障と税の一体改革について

**問** 政府は消費税増税法案を閣議決定し、6月21日も衆議院で採択を強行しようという緊迫した情勢の中にある。市長は、地方交付税として配分されることなどから消費税増税に理解を示してきたが、社会保障の財源として消費税が最もふさわしいと考えているのか。また、消費税増税に反対する意思はないか。

**答** 国・地方でも、毎年社会保障費が膨らんでいる現状において、社会保障を支える経費負担を将来世代へ先送りせず国民全体で担うという観点から、偏在性が少なく、安定的な財源となる消費税増税が議論されていることに一定の理解はできる。



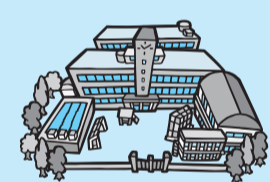
**その他の質問事項**  
米軍輸送機オースプレイの配備、学校給食共同調理場の民間委託



大亀 泰彦 議員  
(松山維新の会)

## 小中連携校整備の進捗状況は

**問** 今年の3月議会で、東中校区で更に小中連携教育を推進するため、東雲小学校において校舎建て替えによる小中併設型校舎の整備実施を表明されたが、一般の愛媛新聞の記事「東雲小学校舎建設足止め」に関連して、小中連携校整備のスケジュール及び土地購入に係



る財務省協議はどのようなになっているのか。

**答** 現在の状況は、基本・実施設計の発注を終え、東中校区小中連携教育推進協議会から提案を受け、基本設計に取り組んでいる。不測の事態がなければ、平成26年度の工事着手、27年末の事業完了の予定となっている。また、土地購入に係る財務省協議については、現状では国有財産四国地方審議会での審議に諮られていない状況だが、引き続き財務省との協議を重ねた上で、手続きを進めていくこととしている。

## 公共交通利用促進条例の制定を

**問** 交通に関する計画は、本市でも策定しているが、その取り組みを不変のもの

のとし、市民が共有し、まちづくりの施策として明確に位置づけるために、公共交通利用促進条例を制定することについて見解を伺いたい。

**答** 公共交通の利用促進に向けては、行政や交通事業者による取り組みだけではなく、市民の意識や行動の変化により、自発的な公共交通への転換を促すことが必要である。そのため本市では、ワークショップを開催し、意見交換を行うなどの取り組みを行っている。また、国において、交通基本法が制定される見通しであることから、今後、条例の制定について調査・研究していきたい。

**その他の質問事項**  
緊急雇用創出事業、行政改革、坂の上の雲のまちづくり、地域主権改革



大塚 啓史 議員  
(公明党議員団)

## ホームページに「LJUNの体温計」を設置しては

**問** 全国の自殺者数は14年連続で3万人を超えており、うち半数近くはうつ病などの精神疾患が原因と言われている。そこで、うつ病の早期発見を促すために、病院に行くことなく、パソコンや携帯電話で気軽に心の健康をチェックすることができるところの「LJUNの体温計」をホームページに設置してはどうか。



**答** 本市では、メンタルヘルス対策として、ストレスチェック表を作成し、窓口等で配布し活用している。「LJUNの体温計」などホームページを活用したストレスチェックの自己診断ツールについては、幅広い年齢層の市民に受け入れられるかどうかを含め、活用方法や費用対効果などを勘案しながら、総合的に研究していきたい。

## 子どもたちの交通安全向上のための「交通安全マップ事業」について

**問** 登下校中の児童生徒を襲う痛ましい交通事故が相次ぐ中、本事業は、児童の交通安全向上のソフト対策として、子どもたち自らの手で交通安全マップの作成に取り組み、交通安全の意識向上

**答** 交通安全マップの作成過程においては、児童だけでなく、学校や保護者も参画するなど、大人と子どもとの目線の違いを理解し、危険箇所の情報共有や事故防止につなげたいと考えている。また、在校児童や新入学児童のほか、保護者や公民館等へも配布することとしており、地域ぐるみによる交通安全の意識啓発に活用していきたい。

**その他の質問事項**  
市民サービス、災害危機管理体制、スポーツコンベンション、市職員の地域貢献



# 一般質問



宮内 智矢 議員  
(共産党議員団)

## 労働問題に管理上での

**問** 昨年、入庁した新入職員が自ら命を絶つという悲しい出来事が起きた。時間外勤務時間の管理不備により、過労死ラインを超える長時間の拘束を強いていたことに関し、最高責任者として、

市長自ら遺族に対して直接謝罪を行うべきだと思うが、所見を問う。

**答** 市では、時間外勤務申請や退庁について指導して

間外勤務命令を受けることなく夜遅くに退庁していたことは、日々の労務管理が充分ではなかったと認識している。しかし、市としては、出来事と時間外勤務の因果関係を断定することができないため、現時点では、市長が、ご遺族に直接お会いする状況ではないと考えている。

るが、厚生労働省が「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関する基準」に示している定期的な実態調査は行われているのか問う。

**答** 職員の勤務時間については、厚生労働省が策定した基準に示されているタイムカード・ICカード等により、記録された入退庁時間と時間外勤務実施後に報告された時間外勤務の実績時間を、所属長が毎日実態確認している。また、この度の出来事の発生後には、人事課においても、改めて三度の確認をしており、職員の勤務時間の管理は適切に行われている。



## 労働時間について

**問** 本市の労務管理は、一種の自己申告制により労働時間の管理が行われてい

**その他の質問事項**  
自殺予防対策事業、生活保護に関する問題、水害対策

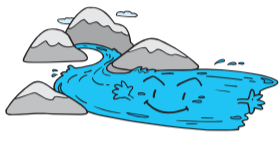


武井 多佳子 議員  
(ネットワーク市民の窓)

## 産業廃棄物処分場周辺の水質汚染について

**問** 本市は、(株)レッグの最終処分場で浸出液処理ができていない状況となったため、6月12日に代執行を行った。この処分場の監視井戸からは、環境水準を超える水銀が検出されており、昨年6月にも処分場地下水路から環境基準を超える鉛、ヒ素、水銀が検出されている。本市として、その因果関係の解明や原因の特定、必要性、水質汚染の状況及び今後の対応について問う。

**答** 平成22年9月に検出された水銀について、現段階では因果関係の原因等の特定には至っていないが、近隣集落の井戸や新たに掘削された下流監視井戸において水銀は検出されていない。また、地下水路から検出された鉛、水銀、ヒ素等についても、法令の放流基準を下回るものであった。今後も、有害物質の検出に対する原因究明のため、継続的な調査を実施していきたい。



## 生ごみリサイクルにおけるコージェネレーション(コジェネ)の導入を

**問** 本市にとって、生ごみのリサイクルは大きな課題である。プライベート市では、最終処分場から発生するメタ

**答** 本市では、コジェネと形態は異なるが、一般廃棄物処理計画に基づき南・西クリンセンターにて焼却した生ごみ等の余熱で蒸気を発生させ、発電を行うなどエネルギーの有効活用を積極的に取り組んでいる。今後は、ごみ処理により発生するエネルギーの活用方法を検討する中で、コジェネ導入の可能性については判断したい。

**その他の質問事項**  
性暴力被害への対応、スクール・セクシャル・ハラスメント防止対策

### <議案等議員別表決結果一覧表>

## 松山市議会 平成24年第2回定例会

○：賛成、×：反対 [会派名] 民社：民社クラブ 無所属：無所属の会 無：無会派 社：社民党議員

議案等	松山維新の会												
	中西智	田坂信一	池本俊英	宇野浩	森岡功	寺井克之	栗原久子	今村邦男	大亀泰彦	菅泰晴	山本昭宏	若江進	渡部克彦
承認 1 松山市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例を定める専決処分の承認を求めることについて	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 70 平成24年度松山市一般会計補正予算(第1号)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 71 平成24年度松山市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 72 松山市印鑑の登録及び証明に関する条例及び松山市市民交通傷害保障条例の一部改正について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 73 松山市社会福祉施設整備審査会条例の制定について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 74 松山市保育所条例の一部改正について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 75 松山市廃棄物処理施設審議会条例の制定について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 76 松山市まちなか子育て・市民交流センター条例の一部改正について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 77 愛媛県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 78 松山市役所前地下駐車場に係る指定管理者の指定について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 79 工事請負契約の締結について(松山市消防救急無線デジタル化整備工事)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 80 市道路線の認定について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 81 砥部町道認定に係る承諾について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 82 市議会議員等報酬・期末手当及び費用弁償条例の一部改正について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 83 松山市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について(議員報酬月額を100分の10減額)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 84 松山市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について(議員報酬月額を100分の5減額)	欠席	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×
議案 85 松山市議会議員の議員報酬及び期末手当の特例に関する条例の制定について(議員報酬月額及び期末手当算出基礎額を100分の5減額)	欠席	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×
議案 86 人権擁護委員候補者の推薦について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議案 87 監査委員の選任に関し同意を求めることについて	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
請願 19 消費税増税に反対する意見書提出を求めることについて(継続審査)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
請願 20 伊方原発の再稼働を認めないよう求めることについて(継続審査)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
請願 21 伊方原発の再稼働を認めないことを求めることについて(継続審査)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
請願 22 最低賃金時給1,000円の実現と中小企業支援策の拡充を求めることについて(継続審査)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
請願 23 「核兵器全面禁止・廃絶国際条約の締結を求める意見書」採択について(継続審査)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
請願 24 消費税増税に反対する意見書提出を求めることについて(継続審査)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
請願 25 中小業者の家族従業者の人権保障のため、「所得税法第56条の廃止をもとめる意見書」の採択を求めることについて(継続審査)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
請願 26 「子ども・子育て新システム」の法制化に反対の意思を表明し、法案撤回を政府に求める意見書提出を求めることについて(継続審査)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
意見書 3 海上保安庁法及び領海等における外国船舶の航行に関する法律の一部を改正する法律案の早期成立を求める意見書について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
意見書 4 米軍岩国基地への垂直離着陸機MV22オスプレイの一時配備に反対する意見書について	欠席	棄権	棄権	棄権	棄権		棄権	棄権	棄権	棄権	棄権	棄権	棄権
— 所管事務調査について	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
選挙 1 松山市議会副議長の選挙	欠席						投票により選任						
選挙 2 愛媛県後期高齢者医療広域連合議員の選挙(指名推選)	欠席	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○

## 「松山市議会議員防災研修」を実施

5月15日、議員自らが防災意識を再認識し、救急技能等を修得するため、市防災センターにおいて、防災研修を実施しました。研修では、消火器による消火体験、地震体験車への試乗といった防災体験のほか、心肺蘇生法、AEDの取り扱いについて、消防局職員から講習を受けました。この研修を通して、今後高い確率で発生するといわれている東南海・南海地震等への防災対策の重要性を改めて実感しました。



心肺蘇生法の実技訓練を行う議員の様子

## 委員会審査

### 《総務理財委員会》

庁舎管理事務にかかる管財課所管の行政財産と普通財産の現地調査、津波避難対策事業における標高マップシステムの導入・公開の活用、松山市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例を定める専決処分による市民の影響、社会資本整備総合交付金及び県支出金等について、それぞれ質疑応答がなされました。

### 《文教消防委員会》

自主防災組織育成業務の活動資機材の配備助成、久米官衙遺跡群の遺構保全、葉佐池古墳整備推進事業完了後の維持管理、幼年少年消防クラブの活動内容、松山市消防救急無線デジタル化整備工事の入札、個人が所有する指定文化財の継承対策、文化財の修理等に

### 《市民福祉委員会》

おける見積額のチェック体制、市内遺跡発掘調査の作業体制、学校給食の民間委託における保護者説明会のあり方等について、それぞれ質疑応答がなされました。

### 《都市企業委員会》

関連性等について、それぞれ質疑応答がなされました。

### 《産業経済委員会》

松山港国直轄整備事業地元負担金の外資埠頭整備事業、住宅マスタープランの作成事業、市営住宅立替事業、市道路線の認定、放置自転車対策事業の雇用人数、子ども目線の交通安全マップ事業の教育委員会との関連性、市道の舗装補修工事の事業内容、城山公園整備事業の防災設備の整備、交通量調査事業の調査内容、公園の防犯体制、松山市役所前地下駐車場に係る指定管理者等について、それぞれ質疑応答がなされました。

### 《環境下水委員会》

準用河川改修事業における傍示川、長沢川の工事実施状況、松山市廃棄物処理施設審議会条例の制定、がけ崩れ防災対策事業の実施状況、下水排水路等整備事業に係る県河川改修事業との

### 《産業経済委員会》

ため池等整備事業に係る改修要望、松山市企業立地促進奨励金事業、花園町通りにぎわい創設事業の社会実験、林道整備事業、漁礁の設置等に関すること、松山市まちなか子育て市民交流センター条例の一部改正等について、それぞれ質疑応答がなされました。

## 第2弾 地域主権検討特別委員会での 議会改革

地域主権検討特別委員会においては、地域主権時代に対応した議会制度のあり方、開かれた議会づくり等について調査研究を行っています。そこで、決定された項目について、6月14日の本会議で委員長が中間報告を行いました。主な決定事項は次のとおりです。

### ○費用弁償の見直し

費用弁償として支給している日額のうち、住居と議場の往復にかかる交通機関の運賃相当分を除く定額部分1,500円の支給を廃止します。



### ○海外行政視察のあり方

次の任期からの海外行政視察は、姉妹都市交流を中心に実施し、地域についてもその近隣の都市までとします。

### ○定例会での質問方式について

従来の質問方式に一問一答方式を加えた選択式に変更し、施設整備等条件が整い次第実施します。

### ○一日一委員会の開催

現在は一日に二委員会を同時に開催していますが、3月定例会では会期を3日延長し、一日一委員会を実施します。また、6・9・12月定例会では、午前と午後での一委員会として開催します。

### ○議会基本条例の策定

特別委員会内に「松山市議会基本条例策定チーム」を設置し、平成25年6月策定を目的に協議を行います。

### ○議員定数問題

特別委員会内に各会派及び無会派からの代表者と委員長による協議会を設置し、引き続き協議を行います。

### ○議員別表決結果の議会だよりへの掲載

今回の市議会だよりから議員別表決結果一覧表を掲載します。

## 観光振興議員連盟の総会が開催されました

本市の観光振興を積極的に推進することを目的に設置した、松山市議会観光振興議員連盟の定期総会が6月22日に開催され、23年度の事業報告のほか、24年度の事業計画などが了承されました。



### 24年度の主な事業

#### 1 全国市議会議長会研究フォーラム in 松山おもてなし事業

(1)まつやま観光コンシェルジュ事業（当日おもてなし事業）

本市で開催される研究フォーラムで、本市のPRを行います。

(2)（仮称）行政視察アシストブック～まつやま自慢～作成事業（PR事業）

リピーターの確保を目的に作成したアシストブックを、フォーラム参加者や他市議会へ配付します。

#### 2 松山まつり参加事業

松山まつり「野球拳おどり」へ参加し、イベントを盛り上げます。

#### 3 広域産業観光構築事業

広域産業観光ルートマップを最新情報に更新し、愛媛県の広域産業観光の周知に努めます。



# 常任委員会「閉会中の調査・研究報告」

松山市議会には6つの常任委員会があり、年4回開催される定例会中の委員会では、付託された議案や請願について審査を行っています。常任委員会では、議会の閉会中においても、松山市が抱える諸課題の中から、所管に係る懸案事項などテーマを設定し、常任委員の任期(2年)の間で調査研究をしています。その結果を3月定例会の初日に報告いたしましたので、その一部を紹介します。

## 文教消防委員会

### 「子どもの問題をめぐる相談体制の充実について」



#### ■テーマ選定の経緯

いじめや非行、不登校など、子どもの問題は虐待や保護者の精神疾患、経済的問題等家庭環境に起因することが多く、その内容も困難、複雑化しています。学校のみならず、多岐にわたる支援を要することから、本委員会では、本市が携わる学校での対策及び相談体制についてのうち、教育支援センター、不登校対策、特別支援教育について調査研究を行いました。

#### ■市への主な提言事項

- ・発達支援に関して、相談場所の問題や相談件数の増加が見込まれ、相談内容も多岐にわたることから、発達支援センターの機能の周知及び相談体制のさらなる充実を図ること。
- ・発達の問題等においては、多方面から支援できる体制の構築、教育と福祉にも精通したコーディネーター的な人材が必要であることから、即効性の高い経験者を有効活用した適材適所への人員配置を検討すること。
- ・核家族化が進む中、近隣者からの情報提供なども重要と考えられることから、早急な連携や連絡体制がとれるよう各地元へ相談窓口を設置し、地域で子どもや保護者を支える仕組みを検討すること。
- ・不登校問題の解決に向け、スクールカウンセラー等の増員を含めた職員の充実に努めること。
- ・不登校の防止マニュアル等の資料を各家庭に配布して、早期発見及び未然防止に努めるよう検討すること。
- ・言語聴覚士等の特殊な職種の雇用が無いことを踏まえ、今後、専門的な職員の雇用など、きめ細かな支援等について検討すること。
- ・本市域内に、小中高一貫の特別支援学校を設置することを県に対し働きかけること。
- ・今後も教育委員会においては、小中学校のみならず、幼保との連携も密にし、また、家庭や地域、関係機関との連携方法の充実についても対応を図ること。

## 総務理財委員会

### 「市民等の利便性向上を目指したIT化の推進について」



#### ■テーマ選定の経緯

本市では、IT化への取り組みとして「松山市情報化推進指針」と「新松山市情報化推進アクションプラン」を策定し、ITの利活用に努め、市民等の利便性向上を図っているところですが、しかしながら、IT技術等は日々進展しており、行政の取り組みも多様化、高度化しているのが実情です。そこで、各種証明書のコンビニ交付の導入等、行政手続きのオンライン化の検討を含め、さらなる市民等の利便性向上に向けたIT化の推進とこれに伴う行政運営の効率化等について調査研究を行いました。

#### ■市への主な提言事項

- ・各種証明書のコンビニ交付サービスについて、将来的な導入も視野に入れて調査研究を行うこと。
- ・各種証明書の自動交付機の導入について、市民サービスの向上という観点から検討すること。
- ・住民基本台帳カードの普及促進に努めること。
- ・国や他市の動向を注視するとともに、セキュリティ対策や費用対効果などを見極めつつ、自治体クラウドの導入を検討すること。
- ・IT化の推進にあたっては、IT弱者へのサポートも含め、行政事務のワンストップ化、また、市役所に出向かなくても届出申請等の手続きが可能となるなど、市民の視点に立って、さらなる行政サービスの向上及び行政運営の効率化を推進すること。

## 市民福祉委員会

### 「高齢者の地域生活支援について」

#### ■テーマ選定の経緯

近年の急速な少子高齢化の進展に伴い現状の公的な介護サービスだけでは、すべての高齢者を見守ることは困難な状況であり、高齢者の孤独死が社会問題となっている状況を考慮すると、公的な介護サービスに地域の方の見守り活動等を組み合わせた高齢者の生活を地域で支える仕組みづくりが求められています。このような状況に鑑み、本委員会では、「高齢者の地域生活支援」をテーマに選定し、調査研究を行いました。

#### ■市への主な提言事項

##### 【地域包括支援センターの強化】

- ・広報の強化として、看板等の目印を設置し、地域で認識されるような工夫を行うこと。
- ・訪問機能の強化として、自ら出向いていくアウトリーチの必要性が高いことから、そのための人材育成を図ること。
- ・身近な相談窓口として、より一層地域に入り、地域実態を把握し、ネットワークの形成を図っていくこと。
- ・運営の強化として、福祉部門に精通した市職員との密接な連携体制を構築すること。
- ・包括的・継続的マネジメント力の向上として、保健所・消費者相談窓口とのさらなる連携を図ること。

##### 【ふれあいいきいきサロンの推進】

- ・サロンの更なる充実として、サロン事業の推進を図る中で、閉鎖的にならないようサロンの質の底上げを図り、魅力的なサロンの育成に努めること。
- ・サロン間の格差解消として、サロン同士の情報交換を行うことにより、地域格差が生じないよう運営スタッフの人材育成に努めること。
- ・地域組織との連携として、サロンとまちづくり協議会等との情報交換や連携を図り、共同企画などつながら作りを進めること。



ほか、  
【民生児童委員、町内会との連携】  
【高齢者の生活相談体制】について

## 都市企業委員会

### 「本市保有の地下水について」



#### ■テーマ選定の経緯

本市は、温暖な瀬戸内海気候により、年間の日照時間は全国平均を大きく上回り、災害も極めて少ない一方、全国でも有数の少雨地域であり、常に渇水が危惧される状況にあります。そこで、いつ来るかわからない渇水に備えるため、現有水源のうち、直接、目で見ることのできない地下水の現状について調査研究を行い、今後の給水施策に反映させることを目的として、「本市保有の地下水」をテーマに選定し調査研究を行いました。

#### ■市への主な提言事項

- ・早期に新たな水源開発を行うことが難しい現状において、現有井戸の有効活用と、より一層の適正管理に努めること。
- ・渇水に備えるために、予備水源の確保策として、更なる農業併用井戸の開発に取り組むこと。
- ・渇水のみならず、災害時においても十分な水が確保できるように努めること。
- ・今後は、限りある地下水を守っていくために、広域的な地下水保全の取り組みが必要であると考えられることから、道後平野全体を視野に入れた広域的な地下水保全への取り組みを検討すること。

## 環境下水委員会

### 「自然環境保全について」



#### ■テーマ選定の経緯

本市では、松山市環境基本条例に基づき、市民と協働で、良好な環境保全及び構築に関する施策の総合的な推進を目的とした松山市環境総合計画の改定作業を進めているところです。そこで、本委員会では、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催された名古屋市等、先駆的に取り組まれている他市の事例等も踏まえつつ、多角的、総合的に取り組むことが重要であるとの認識のもと、自然環境保全について調査研究を行いました。

#### ■市への主な提言事項

- ・希少動植物や特定の地域を保護・育成するため、生息場所にパネル等を設置したり、地域住民が集まる清掃作業時等を捉え、専門的知識を有する職員等から環境、生息状況等を説明する機会を作るなどし、地域ぐるみで地域の自然を守っていく意識の醸成を図るとともに、河川流域に生息する希少動植物の保護については、関係市町と連携するなど広域的に進めること。
- ・平成24年度に改定される「レッドデータブックまつやま2012」の状況も踏まえ、「生き物にも人にもやさしいまちづくり」を目指し、住民の理解を得るため意見交換等を行いながら、環境に配慮した公共工事の実施に努めること。
- ・都市環境学習センターにおいて、今以上に野外活動を積極的に実施し、自然に親しみを抱くようなメニューを開発し、自然に興味を持つ子どもたちを育成していくこと。
- ・現在、改定作業中の環境総合計画において、「みんなのまつやま夢工房」で提言された意見を参考に、自然との共生社会の実現に向けて取り組むこと。
- ・低炭素社会に向けた市有施設での取り組みや、自然エネルギーの導入促進・エネルギーの地産地消なども都市環境学習センターの環境保全に関するメニューに組み入れることについて検討すること。

## 産業経済委員会

### 「農業振興について」



#### ■テーマ選定の経緯

農業が抱える問題の解決や地域農業集落の維持発展を図るためには、農業従事者の所得確保、向上が重要です。そこで、各地域において新鮮で良質な農産物を素材とした製品加工や製品開発に取り組むことによって、農産物の付加価値を高め、流通販売に結び付けていくなど、生産、加工、販売への取り組みを推進していくことが有効な手段であることから、本委員会では、農業振興施策の中でも、「農産物の流通販売方法」、「地域における新たな製品開発」、「他産業との連携」の3分野について調査研究を行いました。

#### ■市への主な提言事項

- ・流通販売ルートにおける地元農業者のコスト削減について調査研究を行うこと。
- ・新たな販路開拓に取り組むこと。
- ・生産者から学校給食への販路強化に努めること。
- ・生産者が持続して生産できる契約栽培の推進に取り組むこと。
- ・農産加工品のブランディングや加工技術について、産・学・官の連携強化を図ること。
- ・新たな製品開発について地域農業者研修会等を実施すること。
- ・農産加工品のブランド化の推進に取り組むこと。
- ・生産者と他産業者との連携体制の形成に係る「場」づくりのための適切な指導を行うこと。
- ・生産者と飲食業者との連携による地場産物を活かした新たな料理メニューの開発推進に取り組むこと。
- ・生産者と他産業者との連携によるインターネット等を活用した情報発信の推進に取り組むこと。

# 議会開会前ミニイベントを開催します ～本会議を傍聴しよう!～

松山市議会では、第3回定例会（9月議会）において、気軽に議場に足を運んでいただくために、本会議開会前のひと時、ミニコンサートを開催します。この機会にコンサートとともに、午前10時より開催される本会議を傍聴してみませんか。

**日時** 9月7日(金) 午前9時30分(15分程度)

**会場** 市役所別館 市議会本会議場

**内容** アンサンブル コモードによる演奏  
【演奏曲】・「古代舞曲とアリア」より5曲  
・「FAUST」より  
・ Believe

**【受付場所】** 市役所別館6階傍聴受付  
※満席になり次第、入場を制限させていただきます。

**【お問合せ先】** 議会事務局総務課 ☎089-948-6646



Female Chorus 道後 15周年 Concert (2009年6月26日)の様子

## 請願の議決結果

### (継続審査)

- 第19号 消費税増税に反対する意見書提出を求めることについて
- 第20号 伊方原発の再稼働を認めないよう求めることについて
- 第21号 伊方原発の再稼働を認めないことを求めることについて
- 第22号 最低賃金時給1,000円の実現と中小企業支援策の拡充を求めることについて
- 第23号 「核兵器全面禁止・廃絶国際条約の締結を求める意見書」採択について
- 第24号 消費税増税に反対する意見書提出を求めることについて
- 第25号 中小業者の家族従業者の人権保障のため、「所得税法第56条の廃止をもとめる意見書」の採択を求めることについて
- 第26号 「子ども・子育て新システム」の法制化に反対の意思を表明し、法案撤回を政府に求める意見書提出を求めることについて

## 陳情

- 第16号 船員に関わる住民税等の減免措置に関する陳情について
- 第17号 地球社会建設決議に関する陳情について
- 第18号 地球社会建設決議に関する陳情について

## 平成24年第3回定例会の開催日程(予定)

第3回定例会は、9月7日(金)から9月28日(金)まで開催される予定です。正式な日程は、8月31日(金)開催予定の議会運営委員会で決定します。なお、9月20日(木)は休日ですが、一般質問日となることもあります。

- 9月7日(金) 本会議 (開会、提案説明)
- 9月13日(木) 本会議 (代表質問)
- 9月14日(金) 本会議 (代表質問)
- 9月18日(火) 本会議 (一般質問)
- 9月19日(水) 本会議 (一般質問)
- 9月21日(金) 委員会 (市民福祉・環境下水)
- 9月24日(月) 委員会 (文教消防・産業経済)
- 9月25日(火) 委員会 (都市企業・総務理財)
- 9月28日(金) 本会議 (表決、閉会)

☆質問議員名は、9月4日(火)の議会ホームページ「9月定例会のご案内」欄に掲載します。

## 委員会の構成

6月定例会の開会初日に、常任委員会及び議会運営委員会の新しい構成は次のとおりです。

◎印…委員長  
○印…副委員長

### 環境下水委員会 7名

- ◎ 上杉 昌弘 (民社)
- 今村 邦男 (維新)
- 宮内 智矢 (共産)
- 武井 多佳子 (市民の窓)
- 八木 健治 (公明)
- 土井 俊学 (自民)
- 田坂 信一 (維新)

### 総務理財委員会 7名

- ◎ 大亀 泰彦 (維新)
- 雲峰 広行 (公明)
- 福岡 玲子 (公明)
- 松岡 芳生 (新民)
- 松下 長生 (無所属)
- 中西 智 (維新)
- 大西 弘道 (自民)

### 都市企業委員会 7名

- ◎ 渡部 克彦 (維新)
- 小林 宮子 (公明)
- 梶原 時義 (市民の窓)
- 友近 正義 (無会派)
- 猪野 由紀久 (無所属)
- 池本 俊英 (維新)
- 白石 研策 (自民)

### 文教消防委員会 7名

- ◎ 若江 進 (維新)
- 大塚 啓史 (公明)
- 杉村 千栄 (共産)
- 原部 俊司 (自民)
- 渡部 昭 (新民)
- 藤本 公昭 (公明)
- 栗原 久子 (維新)

### 産業経済委員会 8名

- ◎ 山本 昭宏 (維新)
- 武田 浩一 (民社)
- 中村 嘉孝 (社民)
- 丹生 利和 (公明)
- 森岡 哲功 (維新)
- 砂野 哲彦 (自民)
- 清水 宣彦 (新民)
- 大木 正彦 (新民)

### 市民福祉委員会 7名

- ◎ 川本 健光 (自民)
- 吉富 一明 (公明)
- 松井 宏治 (新民)
- 小崎 愛子 (共産)
- 菅崎 泰晴 (維新)
- 篠崎 英浩 (市民の窓)
- 宇野 浩代 (維新)

### 議会運営委員会 12名

- ◎ 宇野 浩 (維新)
- 雲峰 広行 (公明)
- 宮内 智矢 (共産)
- 渡部 昭 (新民)
- 大亀 泰彦 (維新)
- 篠崎 英代 (市民の窓)
- 小村 邦男 (公明)
- 今村 智矢 (公明)
- 八木 健治 (公明)
- 土井 俊学 (自民)
- 池本 俊英 (維新)
- 川本 光明 (自民)

各会派の名称は次のとおり

(維新)	松山維新の会
(公明)	公明党議員団
(自民)	自民党議員団
(新民)	新風・民主連合
(共産)	共産党議員団
(市民の窓)	ネットワーク市民の窓
(民社)	民社クラブ
(無所属)	無所属の会
(無会派)	無会派
(社民)	社民党議員

## 討論

松山港国直轄整備事業地元負担金、松山外環状線整備に伴う中央公園高架橋整備事業に反対  
武井 多佳子 議員(ネットワーク市民の窓)

松山港国直轄整備事業地元負担金、桑原学校給食共同調理場給食業務委託に賛成  
宇野 浩 議員(松山維新の会)

松山港国直轄整備事業地元負担金、桑原学校給食共同調理場給食業務委託に反対  
小崎 愛子 議員(共産党議員団)

松山市議会議員報酬削減関連議案(議案第83号、第84号、第85号)に反対  
猪野 由紀久 議員(無所属の会)

## 永年勤続議員表彰

30年以上 議員在職特別表彰  
白石 研 策

10年以上 議員在職一般表彰  
大亀 泰彦  
友近 多佳子  
武井 英代  
篠崎 邦男  
今村 邦男

### 《6月定例会》

選任等を  
された方々

■人権擁護委員候補者  
佐伯 美智子  
江野尻 正明

■監査委員(議会選出)  
藤本 公 子  
原 俊 司

■愛媛県後期高齢者医療広域連合議員  
森岡 功

